

第2回 地域学校協働部会

日時:令和8年6月23日(火)14:35~17:15

会場:西小学校→役場庁議室

【地域学校協働部会】名簿

役職	所 属	氏名	備考	
部 会 長	社会教育委員	羽田 吉彦		
副部会長	南小学校長	中村まゆみ		
部 員	山ノ内中学校PTA	山口 辰也		欠
部 員	山ノ内町社会福祉協議会	鈴木 浩史		
部 員	子ども会育成会連絡協議会長	小林 正俊		欠
部 員	里山ようちえん おやまのおうち	山崎 龍平	(現西小 PTA 副会長)	欠
部 員	オブザーバー	南條信太郎	(前東小 PTA 会長)	
部 員	南小CS地域コーディネーター	平原 進		
部 員	西小CS地域コーディネーター	小河原康貴	(元中学 PTA 会長)	
部 員	スポーツ推進委員	中野 哲良		

1 部会長より

2 内 容

(1) 西小学校の低学年児童の児童クラブへの移動について (西小玄関前)

- ・ 学校併設の西小児童クラブへの移動の様子
 - ・ スクールバスで移動する北部児童クラブ利用児童の下校の様子
- ※ 新しい学校でのこどもの下校の様子をイメージしながら見てください。

役場への移動

(2) 新しい学校における児童クラブの設置場所について

児童クラブアンケートの結果(別紙資料1)

準備委員会への提案(別紙資料2)

○ 7月22日の学校づくり準備委員会で部会としての考え方を提案します

- ① 案1 新しい学校の敷地内もしくは校舎内への設置 → 敷地内か校舎内かの議論
- 案2 閉校する学校の校舎を活用して集約したうえで設置 → 活用校舎の議論

② 北部児童クラブについての議論 この部会で明確な方針を出すか準備委員会に任せるか。

③ 児童クラブに関する施設への要望など

今回出された内容を次回の施設部会に事務局から報告します。

(2) 次回の予定

開催日時:8月21日(金) 14:00~17:00 文化センター駐車場集合予定

会議内容:長期休み中の児童クラブの見学(東小か南小を予定)

PTA 組織に関する学習と、委員の考えるこれからの PTA 組織(保護者組織)の在り方

◆児童クラブ設置場所に関する意向調査・分析結果(確定値)◆

登録児童数:約160名 家庭数:約110家庭=児童数の7割 4月の平日利用者平均:97名/日→ $97 \times 0.7 = 68$ 家庭

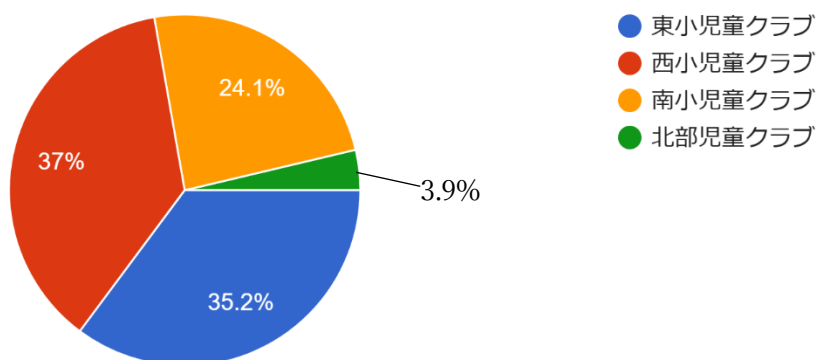
回答数54家庭+(前回回答の北部6家庭) 推定回収率:88%

実施方法:3月13日~5月29日 QRコードおよび児童クラブを通じて、お迎えの際に宛名書きした封書にて依頼

I 回答者情報(今回の回答者54家庭の内訳)

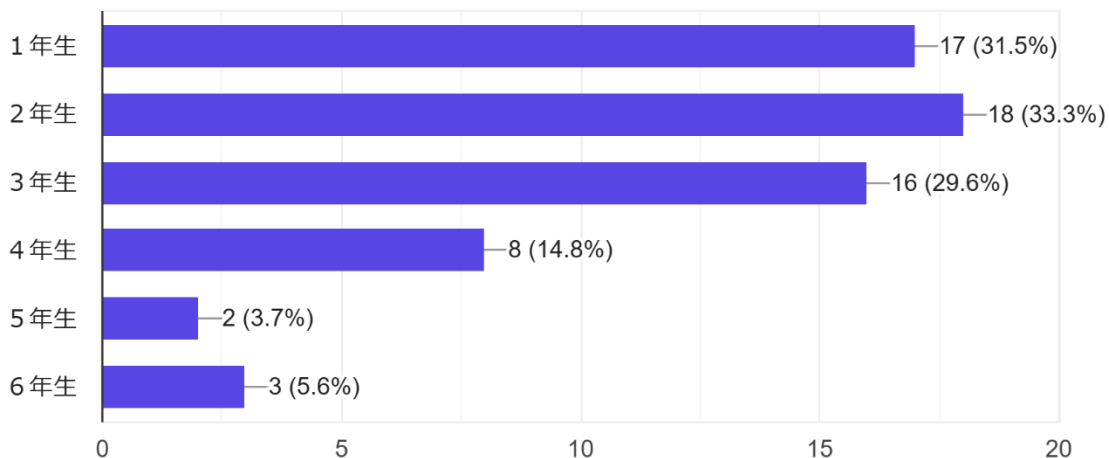
質問1 現在お子様が利用している児童クラブ(学童)を選択してください

54件の回答

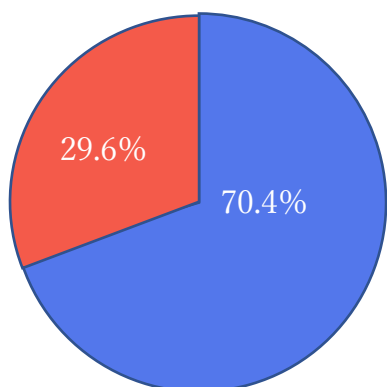


質問2 利用しているお子様の学年を選択してください(複数選択可)

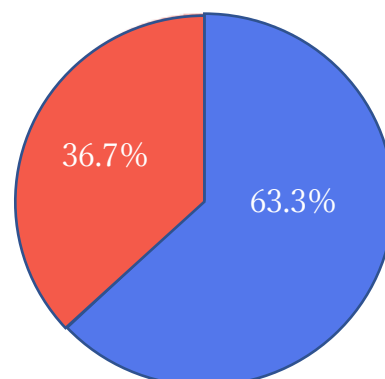
54件の回答



2 設置場所に関する全体傾向 (左グラフ:今回の回答者のみ 右グラフ:前回回答の北部利用者も反映)



青:新しい学校の校舎内もしくは敷地内がよい。
赤:新しい学校の校舎内もしくは敷地内でなくてもよい。



3 クロス集計による分析

① 学年による傾向(低学年 と 中高学年)

- 低学年(1-3年): 38/51名(75%)が「校内」を希望。
- 下校直後の移動に伴う安全面への不安が極めて高く、短時間での移動、こどもが自力でできる移動に対する期待が大きい。
- 中高学年(4-6年): 7/13名(54%)が「校外も可」と回答。
- 成長に伴い、活動範囲の拡大や児童クラブだけに限らない多様な居場所への期待もある。

② 現利用施設による傾向

- 東小利用者: 15/19家庭(約79%)が「校内」を希望。
- 西小利用者: 13/20家庭(約65%)が「校内」を希望。
- 南小利用者: 10/13 家庭(約77%)が「校内」を希望。
→これらの地区では「学校併設」の安心感(安全面の利便性)を評価しており、統合後も同様の環境を求めている傾向がある。西小については現在も北部地区での利用者もいるため、学校外での運営のイメージもあると考えられる。
- 北部利用者: 7/8家庭が「新しい学校外」も可としている。
→北部地区では送迎の利便性や現在のすがかわふれあいセンターでの実施実績から、新しい学校外での施設を希望していると考えられる。

4 保護者の声(自由記述の整理) 前回アンケートの際の記述も記載

A. 「学校内・隣接」を求める意見

【移動の安全と時間の有効活用】

- ・ こども達が学校が終わってすぐ行け安全だから。
- ・ こども達が移動しないで行けるので安全で良い。
- ・ 校舎内もしくは敷地内に居てくれたほうが移動がなく安心。
- ・ 学校と近くがよいから。
- ・ 学校から児童クラブまでの安全性の確保できるから。
- ・ 移動がないのは安全でいいと思う。仮に家から遠くても、近くに児童クラブがあっても車での迎えになると思う。
- ・ 学校終わりから児童クラブまでの移動が敷地内であれば安心であるから。
- ・ 学校生活から児童クラブへスムーズに移動できるため、移動にかかる時間を有意義に使える。
- ・ 送迎のしやすさや、より多くの大人の目がある場所の方が安心だから。
- ・ 学校が終わってから違う場所に移動するとなると事故などのリスクもあり怖い。
- ・ 夏季の下校が早い時や悪天候の時の下校は、児童クラブまで距離があると心配。
- ・ 敷地内じゃないと家に帰ってきちゃうか友達の家だまってしまうそうだから。
- ・ 今のご時世、移動距離が少ない程、安心。

【バス送迎の負担】

- ・ バスなどで送迎するのも運転手の確保も含めこれから減少することにもバスを出すことは大変かと思う。

【こどもたちの関係性】

- ・ 他の地区に住む友達とも遊ぶ機会が多くなるから。
- ・ 学校と児童クラブの連携がしやすいと思うから。

【心理的な面】

- ・ 学校も新しくなり児童クラブも新しい場所となると、こどもたちもたくさんのに慣れなければいけない為、気持ち面での負担軽減でも1カ所がいい。
- ・ こどもが「学校=安全な場所」という延長線上で放課後を過ごせることは、精神的・体力的な負担が軽減できる。

【その他】

- ・ 他の場所を借りる意味が無いと思うから。

B. 「学校外(敷地外)でも可」とする意見

【地域への配慮・自宅からの近さ】

- ・ いままでどおり東西南北の児童クラブがいいと思います。送り迎えが近いので。
- ・ お迎えが遠くなるから。
- ・ 送迎が近いとありがたい。(しかし児童の移動の安全性や確実性を考えると新しい学校 or 敷地内も構わない。)
- ・ 各地域にあった方が保護者の送迎の負担が少ない、また一カ所に集中すると送迎の際の混雑を招きそうだ。
- ・ 毎日の送迎や長期休みなども含めてできれば既存の学校付近のほうが助かる。新しい校舎だと送迎に時間がかかってしまう。
- ・ 自宅に近いほうが「都合がよい。
- ・ お迎え等、新しい学校に設置だと不便だと思う。
- ・ 自宅近くにあると利用しやすい。何かあった時に祖父母に迎えを頼みやすい。

【既存施設の有効活用と金銭面】

- ・ 新たに作るにより費用がかかると思う。利用できる施設があるなら利用すべき。
- ・ 空いている空き家等あれば敷地内でなくても良いと思います。広々とした所がいいと思う。
- ・ どちらでも良いが使える建物があるなら費用もかかるし新しく創設しなくても良いと思う。
- ・ 校舎内外、敷地内外は問わないが、他県でいう児童館のような、多世代が交流出来て自由に行き帰りが出来る施設を目指して欲しい。

【規模と施設への不安】

- ・ 人数も増えるなど予想すると、それなりの施設の確保が必要だと思う。

【統合による「切り捨て感」】

- ・ 学校まで迎えに行くのは大変。近くなければ意味がない。この質問は多数決になるならば、遠い家ほど不利益を被る。やはり切り捨てられるのだな。人がいなくなって当然だなと思った。

【施設の質・環境への期待】

- ・ 現行の児童クラブと放課後図書館利用の児童の待遇面が異なることについてもう少し相談、検討していただきたい。
(北部児童クラブは図書館などが自由に使える環境であり他のクラブと状況が異なるということかと推察)

【場所へのこだわりがない】

- ・ どちらでもよいから。(西小1年)
- ・ 移動時の安全性が考慮され、どんな子も移動できる環境が整えてもらえるなら場所にこだわらない。(東小4年)
- ・ こどもが学校から安全に設置場所まで移動できるのであれば、場所は同じでなくても良い。(西小4年)
- ・ 場所は何処でもよいが、小中学生と地域の方と先生方、保護者等が自由に出入り出来、教え合える環境にしていきたい。(東小5年・6年)

・ 安全な場所であれば新しい学校の校舎内もしくは敷地内でなくてもよい。一緒に過ごしてくれる大人がいれば場所は問わないが、下校後にそこへ向かう手段(バスなど)も気になる。

※ 建設費の部分のコストはあるが、施設を集約することで人件費やバス運行費は確実にコストダウンできる。

※ 児童館(児童センター)は飯山市や中野市、長野市などにもあり施設としては県内にも多数存在する。

※ 新しい学校の ESD/地域連携室などのかかわりから様々な交流は検討していけると考えている。

※ 学校施設の放課後利用と有効活用という点からも図書館機能等をクラブで活用することは検討すべき内容。

この内容をもとに7月22日の準備委員会への提案を考えています。本日の会でご意見をいただき修正を加えます。

令和 8 年(2026 年)7月22日

山ノ内町学校づくり準備委員会 各位

地域学校協働部会

部会長 羽田 吉彦

新しい学校における放課後児童クラブの設置場所に関する提案について

Ⅰ 提案内容

令和 12 年度(2030 年度)に開校を予定している新しい義務教育学校における「放課後児童クラブ」の設置場所について、地域学校協働部会として以下の通り提案します。

① 基本的な方向性

放課後児童クラブは、原則として「新しい学校の校舎内または敷地内」に整備・集約する。

② 北部児童クラブの扱いに関する方向性

将来的には北部児童クラブも含めた全町的な集約・整備することを部会としての方向性としませんが、地域事情や保護者の強い愛着に十分配慮し、段階的かつ丁寧な対話プロセスを経て決定することとします。

2 提案の背景

本方針の提案にあたっては、令和 8 年春に実施した「令和 12 年度以降の放課後活動に関する意向調査」の結果、およびこれまでの部会や昨年の学校づくり準備委員会での議論を十分に勘案し、「山ノ内町こども基本条例」の観点からも「こどもファースト」の環境はどうあるべきかを最優先に判断しました。

(1) こどもたちの安心・安全の確保と移動リスクの排除

意向調査において、全体の約 63.3%が「新しい学校の校舎内または敷地内」を希望しています。特に低学年(1~3 年生)保護者においては、75%が校舎内・敷地内を希望しており、「移動に伴う事故や事件のリスク排除」を最優先とする声が多数を占めました。仮に学校敷地外に設置し、閉校した校舎の利用をした場合、毎日のバス等による輸送が今後永続的に発生し、これに伴う長期的な安全管理は町および指導員、学校職員等にとって相当な負担となることが懸念されます。校内・敷地内への整備が、もっともこどもたちの命と安全を守る選択肢であると判断しました。

(2) 集約による「見守り体制の強化」と「多様な交友関係」の構築

1 つの新しい学校に集約することで、配置される指導員の数が多くなり(1施設あたりの指導員の数)、こどもたちが校内の多様な場所に分散して活動しても、大人の目がしっかりと届く見守り体制が構築できます。また、町内全域のこどもたちが放課後も居住地に関係なく、新しい広い交友関係を築き、共に過ごすことができる充実した放課後環境を提供できます。

(3) 新校舎の施設(ESD・地域連携空間)の有効活用と多世代交流

未来を見越して整備する新しい学校には、柔軟な学習空間や ESD(持続可能な開発のための教育)、地域連携室などの設置が予定されています。これらの施設を放課後も子どもたちに開放し、学校の教職員と児童クラブ指導員が近距離で緊密に連携をとることで、子どもたちの精神的・体力的な負担を軽減します。さらに、地域ユニットを利用する住民やボランティア、ユース世代(中高生)等との豊かな交流も期待できます。

3 北部児童クラブの扱いに関する部会の考え方

意向調査結果において、東小(約 79%)、南小(約 77%)、西小(約 65%)の各利用者が高い割合で「校舎内・敷地内」を希望しているのに対し、北部利用者は 7/8 家庭が「新しい学校外(現行のすがかわふれあいセンター)」での継続運営を許容・希望しているという明確な傾向の違いが見られました。北部地区では、現在の恵まれた環境(図書館が自由に使える等)や送迎の利便性が高く評価されています。部会としては、この結果を重く受け止め、「多数決によって地域の居場所を一方的に切り捨てる」というアプローチは決して取るべきではないと考えます。

そのため、以下のステップによる丁寧な合意形成を提案します。

- ① **基本方針としての集約の提示**:施設の重複投資を抑え、人件費やバス運行費を最適化しつつ全体の質を向上させる観点から、将来的な「新しい学校内への集約」という理想像は共有する。
- ② **住民・保護者・こどもとの「対話の場面」の創出**:北部児童クラブの利用者、および将来の利用者となる北部保育園の保護者、そして当事者である子どもたちと、直接意見を交わす懇談・対話の場を設ける。
- ③ **対話の時期(予定)**:新しい学校の全体像や施設デザインがより具体的になり、こども視点でのメリットをイメージしやすくなる「令和 9 年度(2027 年度)」に実施することが適当であると考える。

ここでは単に「集約への同意」を求めるのではなく、新しい学校の図書機能や ESD 空間を放課後にどう活かせるかなど、子どもたちにとって真に魅力的な環境を「共につくる」ための前向きな対話を目指します。

4 準備委員会へ検討・審議をお願いしたい事項

地域学校協働部会としての本提案を受け、準備委員会において、以下の事項について具体的な検討をお願いしたい。

- ① **放課後児童クラブを新しい学校の校舎内・敷地内に整備する基本方針の承認**
 - 今後の基本設計・実施設計に反映させるための承認をお願いします。
- ② **北部児童クラブの段階的合意形成プロセス(令和 9 年度対話の場)の方向性について**
 - 北部地区の持つ「地域独自の放課後環境の良さ」を新しい学校にどう継承・包摂できるか、また令和 9 年度以降の対話による北部児童クラブの在り方の検討に関して進め方を検討してもらいたい。
- ③ **「公的な預かり(児童クラブ)」と「自主的な放課後活動(閉校校舎等の活用)」の整理**
 - 本人の意思で移動し利用する「ユースセンター型」の自主的放課後拠点(閉校校舎の活用も検討)のあり方と、新しい学校内の児童クラブ、放課後こども教室との機能分担について、全町的な視点での議論をお願いします。(閉校校舎の活用に関する詳細な議論は町の公共施設検討会議で行います。)